

サンドボックスとSIEM機能を搭載した次世代ソリューション Juniper Advanced Threat Prevention

ICSAで実証された機械学習による“未知の脅威”の検知率と、
インシデントレスポンスの自動化(ポリシー適用)対応により、レスポンス時間と運用コストを大幅に削減

1 攻撃の巧妙化、
複雑化

2 膨大なデータ
ノイズ過多

3 スタッフ、
スキル不足



Test Length	57 days	Malicious Samples	914	Innocuous Apps	519
Test Runs	1133	% Detected	100.0%	% False Positives	1.8%

Fig. 1 - High Detection Effectiveness & Low False Positives

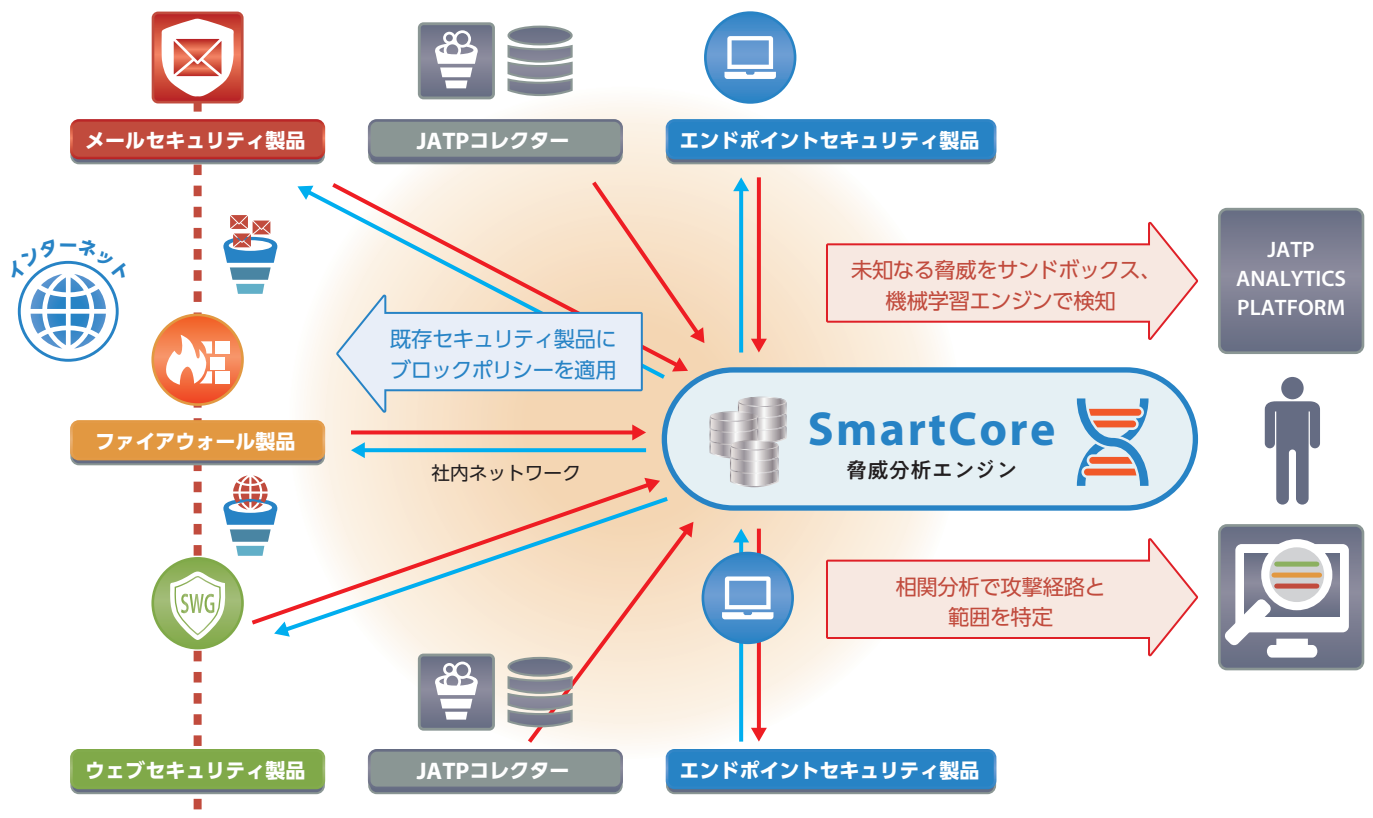


Fig. 2 - Detected 914 of 914 files & 0 false-positive Malicious Samples

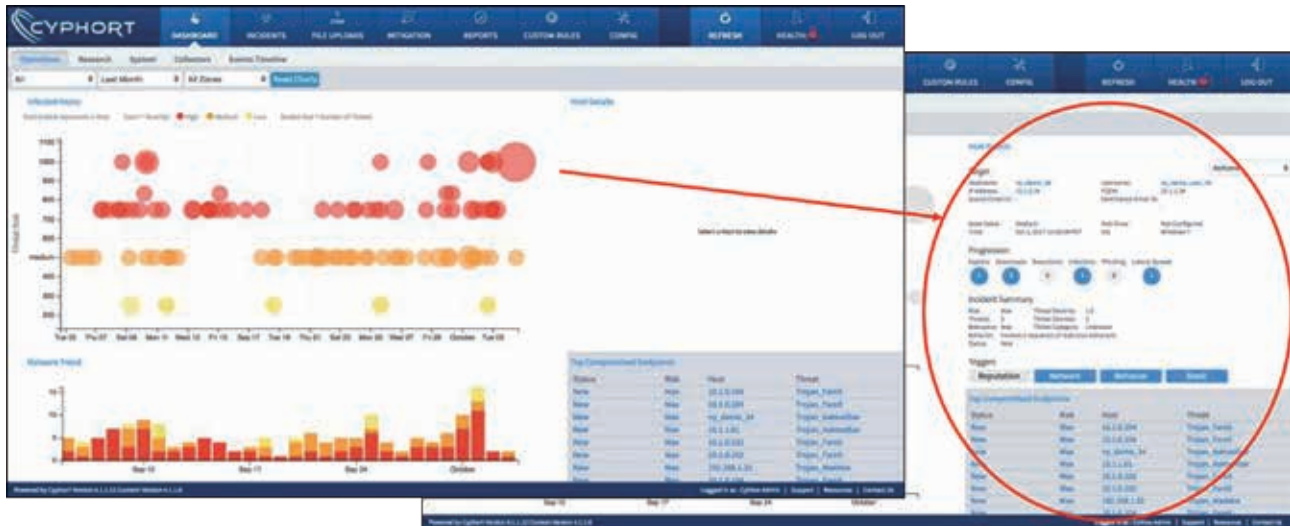


Fig. 3 - 100% Alert on Innocuous Applications

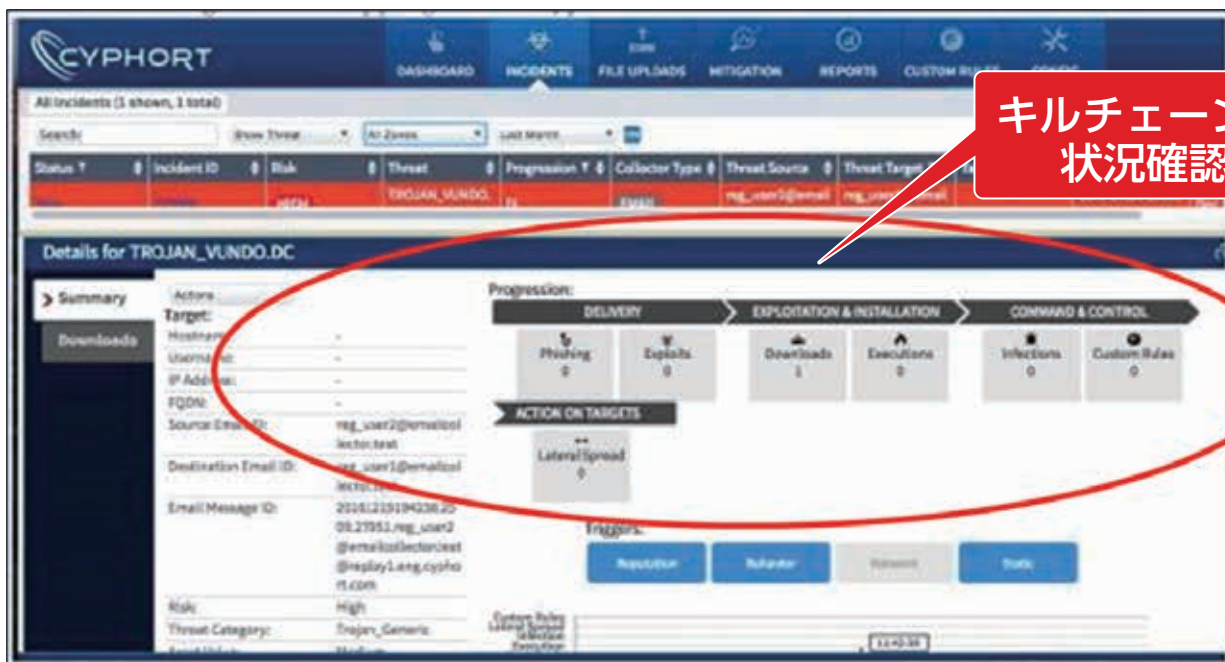
未知の脅威を検知し、インシデント対応を自動化



感染端末の状態を可視化



感染範囲の特定とキルチェーンの確認



キルチェーンの
状況確認

① 可視化

端末、ユーザレベルで脅威の行動を可視化

② ノイズ軽減

膨大なデータからインシデントシグナルとノイズ警告メッセージを分離

③ 自動化

機械学習機能を活用した自動分析により、インシデント対応時間を大幅に削減



ぜひご覧ください!
ジュニパーのセキュリティソリューションまとめサイト
<https://www.juniper.net/jp/jp/dm/security/>